



新訂・増補 美作略史 刊行



「新訂・増補美作略史」は、明治期に刊行された美作略史を基に、刊行以降に明らかになった資料を盛り込んだ編年体の新たな歴史書です。

古代から中世までの美作地域の歴史を最新の研究成果を基に紐解きます。

冊子概要 A5判、510ページ、モノクロ

価格 2,000円(予定)

発行日 1月上旬(予定)

販売場所 津山ブックセンター本店と市内各支店、柿木書店、照文堂書店、ブックステラさか、本とカメラてづか、津山観光センター、津山郷土博物館ほか

岡津山郷土博物館(山下) ☎22-4567



美作略史

明治14年(1881年)、郷土史家の矢吹正則によって書かれた歴史書。

和銅6年(713年)の美作国建国から明治4年(1871年)の北条県設置までの美作地域の歴史が、年表のように年代順に記述されています。

現在、美作地域の郷土史を研究する上で、必見の書物と位置付けられています。

震災のことを忘れない



農業

立畠 堅志さん(小田中)

自身が栽培したサツマイモを、阪神・淡路大震災や東日本大震災で被災した町に送るなど、地道な被災地支援活動を続けている立畠さんにお話を伺いました。

支援活動を始めたきっかけは?

平成7年に発生した阪神・淡路大震災で、当時、幼稚園児だったわたしの長男と同年代の子どもたちが被災している様子をテレビなどで見て、何かできることはないかと思い、サツマイモを送ることを始めました。また、わたし自身が若い頃、神戸市内で働いていたことも、きっかけの1つです。

東日本大震災へ支援を始めたきっかけは?

東日本大震災が発生した当時、長男が茨城県で被災し、5日間、安否が確認できませんでした。そんなこともあり「被災地で何が起きているのかを、自分の目で確かめたい」という思いが強くなり、4カ月後の7月に1週間かけて宮城県や岩手県の被災地を回り、写真を撮りました。そして、何か支援がしたいと思い、阪神・淡路大震災の時と同様に、イモを送ることにしました。

神戸や東北の皆さんとどのような交流をしていますか?

現在は、神戸市長田区の幼稚園と福島県双葉町の仮設住宅、岩手県大槌町の幼稚園にイモを送っています。イモのお礼に、手紙などをもらうことが、とてもうれしいですね。

今までに3回、東北地方を訪れ、現地に出会った皆さんと連絡を取り合っています。今年も7月に現地を訪ねる予定にしています。

また、以前から、市内の幼稚園や小学校などでイモ掘りを体験してもらう活動を行っていて、昨年の秋は、園児たちが掘ったイモを大槌町の幼稚園に送りました。

これをきっかけに、新たなつながりや人の輪が生まれればいいなと思っています。

震災は悲しい出来事ですが、こうしてできたつながりや絆を大切にしていきたいですね。

今後の活動は?

やはり、震災の記憶を風化させてはいけないと思っています。今後も、イモ掘り体験や地域のイベントなどで、わたしが被災地で撮った写真や聞き取ってきたことを伝えていきたいと思っています。

津山に期待することは?

この支援活動を通して、人のつながりや絆の大切さを改めて感じました。津山もイモヅルのように、もつと人と人がつながり合い、助け合うまちになれば良いと思います。

人のつながりの大切さをしみじみと語る立畠さん。今後も焼き芋のような暖かい支援を続けてほしいですね。



小学生とイモを収穫する立畠さん

美作国建国1300年記念事業 閉幕セレモニー

美作国建国1300年記念事業実行委員会では、記念事業の閉幕セレモニーを開催します。

セレモニーでは、美作国建国1400年に向けての新たなスタート「始まり」として、各地域の次代を担う子どもたちのパフォーマンスにより、郷土の素晴らしさを表現し、ふるさとへの誇りと自信につなげます。

とき 3月21日(祝)午前10時～正午

ところ 勝山文化センター(真庭市)

内容 記録映像上映、子どもたちの創作ダンスや楽器演奏などのパフォーマンス、誓い宣言、建国1400年に向けてなど

入場料 無料

申込方法 ①氏名②代表者の住所③電話番号を電話、ファクスまたはEメールで伝え、申し込む

締め切り 2月28日(金)

美作国建国1400年に向けて スローガン募集

今年3月で美作国建国1300年記念事業はフィナーレを迎えます。

次の100年、美作国建国1400年に、この事業を語り継ぎ、思いをつなげるためにスローガンを募集します。詳しくは、実行委員会ホームページをご覧ください。

岡美作国建国1300年記念事業実行委員会 ☎35-3434 3435
3434 ☎35-3435 info@mimasaka1300.org
ホームページ http://www.mimasaka1300.org/